

功 績 概 要 書

1 受賞者

住 所	鶴岡市
氏 名	村山 秀樹
年 齢	63 歳
現 職	国立大学法人山形大学 理事・副学長

2 受賞理由

山形県園芸試験場および山形大学農学部で、約 40 年に渡って果樹の成熟生理・ポストハーベスト科学を中心に、研究を続けてきた。特に山形県の主要果樹であるセイヨウナシ（ラ・フランス）やサクランボを対象に、成熟・追熟、エチレン生成、デンプン分解、貯蔵条件と品質保持などの基盤研究で多くの研究実績を残している。これらの成果が果実の高品質化や長期流通技術の確立に寄与し、地域農業の発展に大きく貢献するとともに、候補者自身は、園芸学会・食品保蔵科学会での委員活動や地域連携プロジェクトを通じ、学術と産業の橋渡し役としても重要な役割を果たしてきた。

3 具体的功績

- (1) 専門分野の知見をベースに、山形県内の果樹生産者・JA・試験場への技術指導・講演・助言を行うとともに、山形県「ラ・フランス」振興協議会アドバイザー、庄内産ワイン振興プロジェクト会議委員、上山市園芸作物産地化研究会委員などを務め、県内の農業や食品産業の振興に貢献した。
- (2) 山形大学農学部長として、山形大学アグリフードシステム先端研究センターや山形大学農山村リジェネレーション共創研究センターを設立するなど、組織的に農学研究をリードしてきた。
- (3) 山形大学理事・副学長に就任以降は、国際交流担当として学内での学術交流や国際共同研究を活性化するだけでなく、山形大学・山形県・新モンゴル学園の三者協力覚書締結では、県と新モンゴル学園との連携を強化し、モンゴルと山形の若者の人材循環を促進するために尽力している。